

小間番号
A-23

垂直積み大型ブロック『ゴールコン』

i-Construction

設計・施工



宅造法大臣認定「見付高9.0m」 建設技術審査証明「擁壁高10.0m」

擁壁の壁部分にゴールコンブロックを使用し、基礎コンクリートに定着させた鉛直鉄筋とゴールコンブロックを中詰めコンクリートにより一体化した擁壁です。
鉄筋コンクリート擁壁と同等の安全性と構造性能をもち、経済性と施工性の良い自由な景観を実現できます。また、ブロック本体があまり大きくない為、狭い施工現場・運搬にも適応し、水平方向に壁面の角度を変化させる事が可能であり、曲線部にも対応できます。
最近では橋台背面の直立した擁壁として、補強土壁の代わりに多く使用されています。

東栄コンクリート工業(株)

担当:東栄コンクリート工業(株) 営業部 鹿野
TEL:022-218-2881 URL:<http://www.toeicon.co.jp/>

小間番号
A-23

置き式ガードレール連続基礎『GUブロック』

i-Construction

設計・施工



道路規制箇所等に用いられる連続基礎ブロック

路面に置いて使用する事を基本に開発したプレキャストコンクリート基礎ブロックです。
置きブロックは破損した場合、ブロック同士がプレート連結のため部分的交換が出来ます。
安全対策として15度まで歩道側へ移動しますが、それ以上はブロック同士が干渉して可動を抑制します。
可動式分離帯ブロックは事故や災害で突如車が停止し、長時間通行止めとなる場合に分離帯を一時的に移動、もしくは取り除いて反対車線に流すことができ、いざという時に動かすことで道路の機能を回復させ、救急車などの緊急車両も現場へ向かうことが出来ます。
全国での施工実績も32kmを超えました。

東栄コンクリート工業(株)

担当:東栄コンクリート工業(株) 営業部 鹿野
TEL:022-218-2881 URL:<http://www.toeicon.co.jp/>

小間番号
A-23

目隠しフェンス対応擁壁『カクセール』

i-Construction

設計・施工



目隠しフェンス高さ1800mmに対応したL型擁壁

従来の転落防護柵対応のL型擁壁に目隠しフェンスを建て込むことは、風荷重の影響が大きいためできませんでした。また既存の施工方法ではL型擁壁と基礎ブロックの敷設が必要で、デッドスペースが多く舗装施工も大変でした。カクセールは目隠しフェンス対応の為、フェンスを直接建て込むことができ、舗装もスムーズに施工できます。

風速36m/s(屋根が飛ばされるような風)に対応しております。

東栄コンクリート工業(株)

担当:東栄コンクリート工業(株) 営業部 鹿野
TEL:022-218-2881 URL:<http://www.toeicon.co.jp/>